

2. 昭和59年(1984年)4月～昭和63年(1989年)3月

■昭和59年度(1984年4月～1985年3月)JAROのあゆみ

1984年4月	<p>18日 業務委員会</p> <p>24日 媒体JARO情報連絡会(関西)</p> <p>25日 常任理事会</p> <p>27日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=国の雇用情報の提供と民間情報媒体の役割について 講師=労働省職業安定局業務指導課長 鹿野茂氏</p>
1984年5月	<p>8日 監事会</p> <p>24日 常任理事会</p> <p>28日 業務委員会</p>
1984年6月	<p>1日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=最近の有害図書規制の問題をめぐって 講師=東京大学社会科学研究所教授 奥平康弘氏</p> <p>7日 通常総会</p> <p>7日 総会記念講演 テーマ=21世紀へ向けての科学技術は人間にとって何か 講師=総合研究開発機構理事長 下河辺淳氏</p> <p>18日 関西JAROの会 テーマ=広告と公取委 講師=公正取引委員会大阪地方事務所長 土原陽美氏 テーマ=最近の景表法の動き 講師=公正取引委員会大阪地方事務所取引課長 田宮洋介氏</p> <p>26日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=いま、なぜ広告課税か 講師=慶應義塾大学経済学部教授 古田精司氏</p> <p>27日 業務委員会</p> <p>28日 国民生活センターとの懇談会</p>
1984年7月	<p>11日 審査委員会</p> <p>23日 常任理事会</p> <p>24日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=都市の美観にマッチする広告 講師=東京工業大学教授 茶谷正洋氏</p> <p>30日 業務委員会</p>

<p>SEP. 1984年9月</p>	<p>12日 ゼミナール（東京広告協会共催） テーマ＝国際国家日本の位置づけ 講師＝経済企画庁調査局長 横溝雅夫氏</p> <p>18日 業務委員会</p> <p>21日 関西JAROの会 テーマ＝日本ヒーブ協議会とその会員の活動について 講師＝日本ヒーブ協議会会長 山内志津子氏</p> <p>26日 常任理事会</p>
<p>OCT. 1984年10月</p>	<p>11日 常任理事会</p> <p>15日 審査委員会</p> <p>15日 業務委員会</p> <p>25日 ゼミナール（東京広告協会共催） テーマ＝広告課税は投資課税である 講師＝早稲田大学商学部教授 西澤脩氏</p>
<p>NOV. 1984年11月</p>	<p>14日 ゼミナール（東京広告協会共催） テーマ＝電気通信分野における新規参入の動向 講師＝郵政省電気通信局電気通信事業部長 金光洋三氏</p> <p>22日 常任理事会</p>
<p>DEC. 1984年12月</p>	<p>5日 媒体JARO情報連絡会（関西）</p> <p>21日 常任理事会</p> <p>24日 業務委員会</p>
<p>JAN. 1984年1月</p>	<p>28日 業務委員会</p>
<p>FEB. 1984年2月</p>	<p>22日 常任理事会</p> <p>25日 業務委員会</p> <p>27日 ゼミナール（東京広告協会共催） テーマ＝60年消費者行政の課題と広告 講師＝経済企画庁消費者行政第一課長 里田武臣氏</p>
<p>MAR. 1984年3月</p>	<p>6日 審査委員会</p> <p>13日 消費者等懇談会（日本消費者協会）</p> <p>15日 関係団体協議会（民間自主規制団体）</p> <p>22日 常任理事会</p> <p>25日 業務委員会</p>

■昭和60年度(1985年4月～1986年3月)JAROのあゆみ

<p>1985年4月</p>	<p>15日 関西JAROの会 テーマ=アメリカ人の庶民感覚 講師=東京女子大学教授 猿谷要氏</p> <p>30日 常任理事会</p>
<p>1985年5月</p>	<p>7日 業務委員会</p> <p>8日 監事会</p> <p>21日 常任理事会</p> <p>31日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=法人事業課税のしくみと改正について 講師=自治省税務局府県税務課長 前川尚美氏</p>
<p>1985年6月</p>	<p>3日 消費者等懇談会(主婦連合会)</p> <p>7日 理事会</p> <p>7日 通常総会</p> <p>7日 総会記念講演 テーマ=時代の変化の読み方 講師=ノンフィクション作家 柳田邦男氏</p> <p>13日 媒体JAROの情報連絡会(関西)</p> <p>20日 東京都生活文化局との懇談会</p> <p>24日 業務委員会</p> <p>24日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=大債権国家 ニッポンのゆくえ 講師=野村総合研究所政策研究部 古川哲夫氏</p> <p>28日 関係団体協議会(非食品関係公正取引協議会)</p>
<p>1985年7月</p>	<p>15日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=今、消費に何がおこっているのか 講師=慶應義塾大学教授 井原哲夫氏</p> <p>22日 常任理事会</p> <p>25日 行政連絡会</p> <p>29日 業務委員会</p>
<p>1985年9月</p>	<p>2日 JAROの会 テーマ=消費者は本当にイメージ広告を受け入れているか? 講師=三井物産企画業務室兼総合調査室 寺島実郎氏、ブリヂストン秘書室主査 大坪檀氏、商品科学研究所所長 三枝佐枝子氏</p>

<p>1985年10月</p>	<p>1日 審査委員会 4日 消費者等懇談会 (消費科学連合会) 23日 常任理事会 25日 ゼミナール (東京広告協会共催) テーマ=最近の不当表示の規制について 講師=公正取引委員会取引部長 利部脩二氏 28日 業務委員会 31日 媒体JAROの情報連絡会 (関西)</p>
<p>1985年11月</p>	<p>18日 関西JAROの会 テーマ=広告法務の実際 講師=電通法務部副理事 豊田彰氏 20日 常任理事会 22日 ゼミナール (東京広告協会共催) テーマ=ニュービジネスの誕生と広告 講師=日本長期信用銀行産業調査部調査役 徳田賢二氏 26日 行政連絡会</p>
<p>1985年12月</p>	<p>9日 審査委員会 17日 常任理事会</p>
<p>1986年1月</p>	<p>29日 ゼミナール (東京広告協会共催) テーマ=付加価値税の問題点 講師=税制経営研究所長 谷山治雄氏</p>
<p>1986年2月</p>	<p>18日 常任理事会 24日 業務委員会 25日 関係団体協議会 (民間自主規制団体) 27日 ゼミナール (東京広告協会共催) テーマ=日本人の生活・意識の変化と広告 講師=経済企画庁国民生活局国民生活調査課長 川名英子氏</p>
<p>1986年3月</p>	<p>18日 常任理事会 26日 審査委員会 27日 折込みチラシ広告関係団体協議会 27日 ゼミナール (東京広告協会共催) テーマ=産業構造の変化と広告 講師=日本興行銀行産業調査部次長 有光逸郎氏</p>

■昭和61年度(1986年4月～1987年3月)JAROのあゆみ

1986年4月	<p>7日 業務委員会</p> <p>14日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=61年の広告産業の課題と展望 講師=早稲田大学教授 小林太三郎氏</p> <p>21日 常任理事会</p> <p>30日 関係団体協議会(食品関係公正取引協議会)</p>
1986年5月	<p>9日 監事会</p> <p>13日 関西JAROの会 テーマ=最近における景品表示法の違反事例について 講師=公正取引委員会景品表示監視課長 平林栄勝氏</p> <p>14日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=広告課税の政治経済学 講師=慶應義塾大学教授 古田精司氏</p> <p>16日 常任理事会</p> <p>19日 業務委員会</p>
1986年6月	<p>6日 理事会</p> <p>6日 通常総会</p> <p>6日 総会記念講演 テーマ=広告の倫理(学) 講師=青山学院大学教授 清水英夫氏</p> <p>16日 消費者等懇談会(東京都地域婦人団体連盟)</p> <p>17日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=都市・文化そして広告 講師=総合研究開発機構主任研究員 大内浩氏</p> <p>23日 業務委員会</p> <p>25日 媒体JARO情報連絡会(関西)</p> <p>27日 東京都生活文化局との懇談会</p>
1986年7月	<p>16日 常任理事会</p> <p>23日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=放送産業の将来 講師=日本民間放送連盟研究所長 野崎茂氏</p> <p>28日 業務委員会</p> <p>29日 行政連絡会</p>
1986年9月	<p>8日 業務委員会</p> <p>16日 審査委員会</p>

<p>SEP. 1986年9月</p>	<p>24日 ゼミナール（東京広告協会共催） テーマ＝ニュービジネスの育成と広告産業 講師＝通商産業省サービス産業室長 北畑隆正氏</p> <p>29日 常任理事会</p>
<p>OCT. 1986年10月</p>	<p>22日 関係団体協議会（非食品関係公正取引協議会）</p> <p>24日 常任理事会</p> <p>31日 ゼミナール（東京広告協会共催） テーマ＝日本の比較広告を考える 講師＝弁 護士 川越憲治氏</p>
<p>NOV. 1986年11月</p>	<p>10日 業務委員会</p> <p>20日 関西JAROの会 テーマ＝米国における比較広告の実情と日本での問題点 講 師＝読売テレビ放送審議室次長 柄子澄雄氏</p> <p>21日 ゼミナール（東京広告協会共催） テーマ＝米国の比較広告と今後の方針につい て 講師＝公正取引委員会景品表示指導課長 黒田武氏</p> <p>25日 常任理事会</p> <p>27日 媒体JARO情報連絡会（関西）</p> <p>28日 国民生活センターとの懇談会</p>
<p>DEC. 1986年12月</p>	<p>2日 審査委員会</p> <p>4日 行政連絡会</p> <p>15日 常任理事会</p>
<p>JAN. 1987年1月</p>	<p>30日 ゼミナール（東京広告協会共催） テーマ＝日本におけるクーポン広告とその問 題点 講師＝日本クーポンシステム常務取締役 菊野善衛氏</p>
<p>FEB. 1987年2月</p>	<p>19日 ゼミナール（東京広告協会共催） テーマ＝売上税のしくみと問題点 講師＝東 京大学教授・政府税務制調査会専門委員 宮島洋氏</p> <p>20日 常任理事会</p> <p>23日 業務委員会</p> <p>25日 関係団体協議会（民間自主規制期間）</p>
<p>MAR. 1987年3月</p>	<p>4日 審査委員会</p> <p>19日 業務委員会</p> <p>23日 業務委員会</p> <p>25日 常任理事会</p>

1987年3月

26日 折り込みチラシ広告関係団体協議会

■昭和62年度(1987年4月～1988年3月)JAROのあゆみ

1987年4月

- 14日 ゼミナール テーマ=通商産業省のイベント政策 講師=通商産業省産業政策局 商務室長 宮本恵史氏
- 23日 常任理事会
- 30日 関係団体協議会(非食品関係公正取引協議会)

1987年5月

- 11日 東京JAROの会 テーマ=公正取引委員会の比較広告ガイドラインについて 講師=公正取引委員会取引部景品表示指導課長 黒田武氏
- 12日 監事会
- 13日 ゼミナール テーマ=ニューメディア時代における放送の役割と今後の放送政策 講師=郵政省放送行政局企画課長 加藤芳隆氏
- 15日 常任理事会
- 25日 業務委員会

1987年6月

- 5日 理事会
- 5日 通常総会
- 5日 総会記念講演 テーマ=2000年の産業構造 講師=日本経済研究センター会長 金森久雄氏
- 9日 ゼミナール テーマ=21世紀の日本 講師=経済企画庁総合計画局長 及川昭伍氏
- 15日 関西JAROの会 テーマ=消費者保護と広告の責任 講師=弁護士 中坊公平氏
- 16日 媒体JARO情報連絡会(関西)
- 25日 関西折り込みチラシ広告関係団体協議会

1987年7月

- 2日 業務委員会
- 7日 消費者等懇談会(日本消費者協会)
- 17日 審査委員会
- 23日 常任理事会
- 27日 ゼミナール テーマ=シルバービジネスのトレンドと問題点 講師=博報堂マーケティング部長 小館和夫氏
- 29日 行政連絡会

<p>SEP. 1987年9月</p>	<p>1日 業務委員会 17日 ゼミナール テーマ=新しい消費者と広告機能の変化 講師=東京大学教授 飽戸弘氏 24日 常任理事会</p>
<p>OCT. 1987年10月</p>	<p>6日 業務委員会 27日 常任理事会 30日 関係団体協議会(食品関係公正取引協議会)</p>
<p>NOV. 1987年11月</p>	<p>4日 ゼミナール テーマ=最近における広告活動の傾向と対応 講師=電通マーケ ディング局長 貝瀬勝氏 10日 業務委員会 24日 東京都生活文化局との懇談会 25日 常任理事会 30日 媒体JARO情報連絡会(関西)</p>
<p>DEC. 1987年12月</p>	<p>3日 関係団体協議会(民間自主規制団体) 7日 審査委員会 8日 業務委員会 8日 ゼミナール テーマ=最近の景品表示行政をめぐる問題と対応 講師=公正取引 委員会取引部景品表示指導課長 鈴木満氏 10日 関西JAROの会 テーマ=消費者による広告評価 講師=関西大学社会学部教授 佐々木土師二氏 18日 行政連絡会 21日 業務委員会 22日 常任理事会</p>
<p>JAN. 1988年1月</p>	<p>12日 業務委員会 22日 ゼミナール テーマ=流通面から見たクーポン広告とその課題 講師=流通シス テム開発センター主任研究員 斎藤静一氏</p>
<p>FEB. 1988年2月</p>	<p>2日 業務委員会 22日 常任理事会</p>

1988年2月	<p>23日 ゼミナール テーマ=放送メディアの新しい役割 講師=日本民間放送連盟研究所長 野崎茂氏</p>
1988年3月	<p>1日 業務委員会 25日 常任理事会 28日 審査委員会</p>

■昭和63年度(1988年4月～1989年3月)JAROのあゆみ

1988年4月	<p>5日 業務委員会 11日 媒体JARO情報連絡会(関西) 18日 常任理事会 21日 関係団体協議会(非食品関係公正取引協議会) 22日 ゼミナール テーマ=現在の税制改革論議と新型間接税について 講師=税制経営研究所長 長谷川治雄氏</p>
1988年5月	<p>11日 業務委員会 12日 常任理事会 13日 監事会 23日 関係団体協議会(民間自主規制団体)</p>
1988年6月	<p>3日 理事会 3日 通常総会 3日 総会記念講演 テーマ=人間の知力について 講師=上智大学教授 渡部昇一氏 7日 関西JAROの会 テーマ=通信情報革命と国際金融市場 講師=京都大学教授・JARO審査委員会委員 伊東光晴氏 8日 業務委員会 30日 ゼミナール テーマ=これからのイベントコミュニケーションの展望について 講師=青山学院大学経営学部教授 坂井幸三郎氏</p>
1988年7月	<p>5日 業務委員会 15日 審査委員会 20日 常任理事会</p>

<p>1988年7月</p>	<p>27日 行政連絡会</p> <p>28日 ゼミナール テーマ=シルバーマーケットの展望と広告 講師=余暇開発センター研究開発部主任研究員 白石嘉宏氏</p>
<p>1988年9月</p>	<p>8日 業務委員会</p> <p>19日 ゼミナール テーマ=広告活性化の戦略について 講師=東京大学新聞研究所教授 桂敬一氏</p> <p>21日 首都圏主要都県市との懇談会</p> <p>27日 常任理事会</p>
<p>1988年10月</p>	<p>13日 業務委員会</p> <p>19日 常任理事会</p> <p>26日 国民生活センターとの懇談会</p> <p>31日 ゼミナール テーマ=マーケティング・広告のルネッサンス 講師=早稲田大学商学部教授 宇野政雄氏</p>
<p>1988年11月</p>	<p>9日 業務委員会</p> <p>16日 常任理事会</p> <p>18日 審査委員会</p> <p>22日 媒体JARO情報連絡会(関西)</p> <p>24日 関係団体協議会(食品関係公正取引協議会)</p> <p>28日 ゼミナール テーマ=第二期消費黄金期時代の幕開け 講師=電通総研研究部門チーフプロデューサー 福田優二氏</p>
<p>1988年12月</p>	<p>7日 関西JAROの会 テーマ=アメリカの広告表現と消費者 講師=関西大学教授 植条則夫氏</p> <p>9日 業務委員会</p> <p>12日 行政連絡会</p> <p>20日 常任理事会</p>
<p>1989年1月</p>	<p>31日 ゼミナール テーマ=クーポン広告進展の現状と課題 講師=日本クーポンシステム営業開発部長 平塚善伸氏</p>
<p>1989年2月</p>	<p>16日 業務委員会</p>

1989年2月

- 17日 ゼミナール テーマ＝消費税の導入と広告・表示問題 講師＝公正取引委員会取引部景品表示指導課長 山田昭雄氏
- 22日 常任理事会

1989年3月

- 9日 業務委員会
- 23日 常任理事会
- 24日 関係団体協議会(民間自主規制団体)
- 29日 審査委員会
- 30日 ゼミナール テーマ＝通商産業省のイベント政策と今後の課題 講師＝通商産業省産業政策局商務室長 大隈正憲氏